

「美術2・3」 題材内容一覧、観点別評価規準例

※鑑賞中心の題材を
表現題材として扱う場合

内容解説資料

分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標			観点別評価規準例						学習指導要領との関連		道徳との関連 (関連する内容項目)	他教科との関連	SDGsとの関連
				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞			
							知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)					
表現や鑑賞	鑑賞中心	P8～11 心の中の風景を表す (4～8時間)	○心に残る風景を表すことに関心を持ち、記憶の中にある風景に、自分の気持ちをどう重ねて表すかを考えて主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、構図などの構想を練る。 ○形や色彩、構図などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	心の中の風景をもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、心の中にある風景を表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、心情を通して捉えた風景を全体イメージや作風で捉えることを理解している。	自分の表したい心情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて表現方法を追求して創造的に表している。	心に残っている風景に、自分の気持ちをどう重ねて表すかを考えて主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	風景を描いた作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者がどのような気持ちを重ねて描いたのかを考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に心に残っている風景に気持ちを重ねて表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)				
		P12～15 【体感ミュージアム】 「最後の晩餐」を鑑賞しよう (1～2時間)	○「最後の晩餐」を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○タブレット端末などを活用し、人物のセリフなどを書き込んだり、レオナルド以外の作家の「最後の晩餐」を鑑賞したり、解説動画を見たりして、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	作者の考え、表現の意図や工夫をもとに、見方や感じ方を深める。	作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、遠近感や明暗、人物の描写、造形的な特徴などをとくに、レオナルドの作品やルネサンスの美術の特色を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			レオナルドの作品やルネサンスの美術の造形的なよさや美しさを感じ取り、新たな創造を自覚した作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にレオナルドやルネサンスの美術のよさや美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(イ)		真理の探究、創造／感動、畏敬の念	社会科			
		P16～19 空想の世界へようこそ (3～7時間)	○空想の世界を表した表現に関心を持ち、現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出す。 ○主題をもとに形や色彩、材料などの構想を練る。 ○表したいイメージをもとに、材料や表現方法を工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	夢や想像したことから主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、空想の世界を表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、絵や彫刻に表された空想の世界を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	自分の表したい空想の世界に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	現実にはない不思議なことに想像を膨らませることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	空想の世界を表した作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に、想像を膨らませ、空想の世界を表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(イ)				
		P20～21 あれ？どうなっているの (2～8時間)	○目の錯覚などのしかけを使った作品に関心を持ち、教室や校内に設置したら驚くこと、おもしろいことを考えることで主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、構図などの構想を練る。 ○形や色彩、見せ方などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	想像したことや視覚に与える効果をもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を表したり、鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩などが感情にもたらす効果や、目の錯覚による効果、造形的な特徴などをとくに、美術作品のおもしろさや驚きを全体のイメージで捉えることを理解している。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	教室や校内に設置したら驚かそうなど、おもしろいことを考えることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	目の錯覚などのしかけを使った作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、おもしろさや意外性を生み出す表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に形や色彩のトリックを使ってアイデアを練り、工夫して作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、おもしろさや意外性を生み出す表現の工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)				
表現や鑑賞	鑑賞中心	P22～23 形と色の挑戦 (4～8時間)	○抽象的な表現に関心を持ち、自分の感情や思いなどから主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、材料などの構想を練る。 ○形や色彩の組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	自分の感情や思いなどをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、感情や思いなどを表したり、作品を鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩などの組み合わせが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、描かれた感情や思いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	自分の感情や思いなどから主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	見えないものを形や色彩で表した作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に自分の感情や思いから発想を膨らませ、作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)				
		P24～26 【体感ミュージアム】 「明日の神話」を鑑賞しよう (1～2時間)	○「明日の神話」を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○タブレット端末などを活用し、気がついたことを書き込んだり、作者や制作の背景などを解説動画で知ること、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	作者の考え、表現の意図や工夫をもとに、見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、「明日の神話」などの岡本太郎の作品を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			「明日の神話」などの岡本太郎の作品のよさや美しさを感じ取り、それぞれの考えや表現の意図や工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に浮世絵がゴッホに与えた影響について考え、日本や西洋の美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(ア) (イ)		向上心、個性の伸長／感動、畏敬の念				
		P27～42 日本の絵画を楽しむ 五つのキーワード (1～3時間)	○教科書紙面に掲載されている日本の絵画作品を鑑賞し、それぞれのよさや美しさを感じ取る。 ○五つのキーワードを手がかりに、日本の美術に独特の自然観や美意識、ユーモアを捉えることで、日本の美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	日本の美術に独特の自然観や美意識、ユーモアなどを捉えることで、日本の美術文化への見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、構図や余白、造形的な特徴などをとくに、日本の絵画作品の特色を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			日本の絵画のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫、日本の美術の自然観や美意識、ユーモアなどを考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に日本の絵画や美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(ア) (イ)		我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度／感動、畏敬の念	社会科			
		P43～45 ゴッホと浮世絵 (1～2時間)	○ゴッホの描いた作品を鑑賞し、それぞれのよさや美しさを感じ取る。 ○ゴッホの作品に浮世絵が与えた影響を、解説動画を鑑賞するなどして捉え、日本と西洋の美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	ゴッホの表現の意図や工夫から、日本の美術が西洋の画家たちに与えた影響を考え、見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴をもとに、浮世絵やゴッホの作品の特徴や、日本や西洋の美術文化の特色を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。			日本や西洋の美術作品について、それぞれのよさや美しさを感じ取り、浮世絵がゴッホに与えた影響について考えるなどして、美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に浮世絵がゴッホに与えた影響について考え、日本や西洋の美術文化などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア)イ(イ)		真理の探究、創造／我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度／感動、畏敬の念	社会科			
表現や鑑賞	鑑賞中心	P46～47 環境とともに生きる彫刻 (1～2時間)	○自然や公園の中などに置かれた彫刻を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	設置された環境をもとに、作者の表現の意図や工夫を考え、見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴との関係をもとに、描かれたイメージで捉えることを理解している。	※材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。 ※作品を置く環境などを意識することで主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	自然や公園の中などに置かれた彫刻の造形的なよさや美しさを感じ取り、彫刻と場所との関係から、作品と環境との調和について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	※美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に環境との調和を考慮して作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に彫刻と場所との関係に着目し、作品と環境との調和を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(ア)	社会参画、公共の精神			11、13	
		P48～49 躍動感をつかむ (4～8時間)	○躍動感をつかんだ表現に関心を持ち、人の動きをじっくり観察することから主題を生み出す。 ○主題をもとに、ポーズや構図などの構想を練る。 ○針金や粘土などの特性を生かして、工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	人の動きを形や色彩、全体のイメージなどから捉え、意図に応じて工夫して表す。	人の動きを見つめて感じたことや考えたことをもとに主題を生み出し、心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を表したり、鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、躍動感全体のイメージで捉えることを理解している。	針金や粘土、絵の具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	人の動きをじっくり観察することから主題を生み出し、躍動感が伝わるように単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	躍動感をつかんだ作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、躍動感をつかむための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に人の動きをつかむための表現の工夫を考慮するなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)			保健体育科	
		P50～51 漫画表現を楽しむ (1～2時間)	○漫画表現の特徴や作品ごとの表現の違いを考えながら作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心を持ち、作品の見方を深める。	漫画表現の特徴や効果を感じ取り、見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	漫画の線や文字、構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、漫画の表現を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	※材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	※自分の表したいテーマを漫画表現でどう効果的に表すかを考えることで主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	漫画表現の特徴や効果の造形的なよさや美しさを感じ取り、読者や作品の世界に引き込むための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	※美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に漫画表現の特徴を効果的に使って表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に読者や作品の世界に引き込むための漫画表現の工夫を考慮するなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)イ(イ)				
		P52～53 心を動かすアニメーション (1～2時間)	○アニメーション作品のよさや美しさに関心を持ち、アニメーションの効果を生かして表したいことから主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色彩、材料、構成などの構想を練る。 ○形や色彩、材料、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	アニメーションの効果を生かして表したいことをもとに主題を生み出し、自分なりに工夫して心豊かな表現の構想を練る。	自分の見方や感じ方を深めながら、アニメーションをつくらせたり、鑑賞したりする活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、アニメーションの表現の特徴を全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	自分の表したい表現に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	アニメーションの効果を生かして表したいことから主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	アニメーション作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、アニメーションとして表すための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的にアニメーションの効果を生かして作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、アニメーションとして表すための表現の工夫を考慮するなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	(1)ア(ア) (2)ア(ア)(イ)	(1)ア(ア)				

※鑑賞中心の題材を
表現題材として扱う場合

分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標			観点別評価規準例						学習指導要領との関連		道徳との関連 (関連する内容項目)	他教科との 関連	SDGsとの 関連		
				知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等	学びに向かう力、 人間性等	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		A表現	B鑑賞					
							知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)							
	鑑賞中心	P.92～93 憩いの場をつくる (1～2時間)	○人々が利用しやすいように設計された公共施設などのデザインの工夫を感じ取り、社会におけるデザインの役割や働きなどを考え、見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。	形や色彩、材料、光などが使う人に与える効果を理解し、公共施設のデザインの特徴を捉える。	社会におけるデザインの役割や働きについて見方や感じ方を深める。	自分の見方や感じ方を深めながら、公共施設を鑑賞する活動に主体的に取り組む。	形や色彩、材料、光などが生活する人に与える効果や、公共施設のさまざまな特徴をもとに、空間としてのデザインを全体のイメージで捉えることを理解している。				公共施設のデザインの調和のとれた洗練された美しさや使いやすさの工夫などを感じ取り、社会におけるデザインの役割や働きについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。			美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に公共施設のデザインのよさや美しさ、工夫などを感じ取り、社会におけるデザインの役割や働きについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		(1)ア(イ)イ(ア)	思いやり、感謝／公正、公平、社会正義／社会参画、公共の精神	家庭科(住環境)	3、8、9、11